

名古屋大学 地域医療教育学講座 IPE 関連の業績まとめ

平成 21 年（2009 年）10 月～令和 3 年（2021 年）8 月現在

正規カリキュラム

<つるまい・名城 IPE>（関連資料 2, 7, 20, 21, 23, 27, 31, 34, 41, 43, 50, 54, 60, 65, 69, 76, 78, 80, 89）

医学科 5 年生 臨床実習 I

良いチーム医療が実践できる医療者を育成するために臨床実習に IPE を導入することが必要と考え、平成 23 年（2011 年）度、医学生、薬学生、看護学生を対象にした IPE パイロット研究として、トライアルで「つるまい IPE」として、スタートした。その結果、本 IPE を受けた学生は「他職種の役割理解の上昇」「知識・情報共有の重要性発見」「疾病中心の線的医療モデルから患者中心のチーム医療モデルに変化」などのチーム医療の特性を学んだことがわかり、教育効果が検証されたため、平成 24 年（2012 年）度、正規カリキュラム 医学科 5 年生 臨床実習 1 オムニバス週 つるまい IPE を導入することとなった。

平成 25 年（2013 年）度から、看護学生が年間 20 名ほど参加し、2 学科あるいは 3 学科の IPE を行ってきた。平成 27 年（2015 年）、「つるまい IPE」を「つるまい・名城 IPE」に名称を変更した。

現在までに、「気管支喘息退院指導」「糖尿病インスリン導入」「禁煙指導」「認知症支援」の 4 つを IPE のテーマとして選択し地域医療教育学講座が作成、多学部教員で検討しブラッシュアップしたものを名城 IPE ホームページでアップされている。

<医薬入門 IPE>（関連資料 3, 16, 40）

医学科 1 年生 医学入門

平成 21 年（2009 年）度から開始している医学科一年生医学入門のカリキュラムに、平成 30 年（2018 年）度から名城大学薬学生約 200 名と 2 学科で取り組む IPE として、パワーアップした。ボードゲーム iPEG: interprofessional education game を使用した part1, cinemeducation を行う part2, そして学部混合グループで発表する part3 に分かれている。

＜基本的臨床技能実習 IPE＞ （関連資料 17, 39）

医学科 4 年生 基本的臨床技能実習 多職種連携教育

平成 24 年（2012 年）度から、基本的臨床技能実習に多職種連携教育が組み込まれた。さらに、平成 28 年（2016 年）度から、事例のモデルである当事者を招聘することとなった。多職種による協働を目指し、多職種連携教育の概要を学んだ後、実際の事例を元に学生が多職種の役割を演じ、情報共有と療養計画作成のためのグループワークを行う。多職種の視点から得られた情報と役割を理解し、チームで協働できることを目的とする。医学生のみで他職種を演じることが多いが、令和元年（2019 年）度には看護学生 5 名が参加した。引き続き、他学部の学生の参加を呼びかけている。

＜地域医療学の IPE＞

医学科 4 年生 地域医療学

平成 25 年（2013 年）度から、医学科 4 年生必須講義として、地域医療学を担当している。全 7 コマのうち、多職種連携を扱う内容として「病診・病病連携、患者の Site Assessment」を講義として、「多職種連携地域医療演習～Team Based Learning～による」を行った。平成 30 年度からは、独居身体障害者の悪性リンパ腫を伴うシナリオの退院先として、自宅に賛成または反対、そしてジャッジに分かれてディベート形式のグループワークを導入した。過去に看護学生数名の見学参加があったが、現在も他学部の参加を呼びかけている。

＜地域における IPE＞ （関連資料 38, 55, 67, 68, 70, 83, 84）

医学科 4 年生 選択特別講義「地域における IPE」

平成 25 年（2013 年）度から、医学科 4 年生選択講義に、地域における IPE を開始した。医学生、薬学生、看護学生、社会福祉学生、理学療法生、作業療法生の 6 学科の学生が参加した SP 参加型実習を行ってきた。前半はチームビルディングやレクチャーを行い、後半は学科混合チームで肺がん末期患者のシナリオを元に症例検討を行い、模擬患者（SP）との医療面接から情報収集をして患者中心型療養計画を作成する。ディスカッションを繰り返しながら、他職種の役割や視点の気づきを得ることができ、多職種連携医療に必要なコミュニケーションを学ぶ。

オリジナルカリキュラム

<糖尿病教室 IPE> (関連資料 1, 5, 8, 11, 19, 22, 24, 26, 44-49, 51-53, 61)

平成 26 年 (2014 年) 度から開始した。「糖尿病教室」は、糖尿病患者が食事療法や運動療法、薬物療法などの情報について幅広く学べる場として病院などで実施されているが、「糖尿病教室 IPE」は、この糖尿病教室を多職種学生が企画・運営をし、振り返りをする活動である。医学生、薬学生、看護学生、栄養学生、(理学療法生)の皆さんと各学部教員とともに活動を行ってきた。約 1 ヶ月に渡る IPE プログラムで、学部混合グループに分かれて学生主体で企画を練る。名城 WEB キャンパスを使用し、web 会議等を行いながら準備する。地域の病院の協力のもと、通院中の糖尿病患者の前で、学生による糖尿病教室を実施してきた。

<スコットランドとの IPE> (関連資料 4, 13, 25, 66)

スコットランドのアバディーンにあるロバートゴードン大学と多職種連携教育を通じて交流があり、国際共同教育研究を行った。

<いわい IPE> (関連資料 63)

平成 25 年 12 月「是非、多職種の学生と共に磐井で IPE をやりましょう！」という岩手県立磐井病院の加藤院長の誘いから始まった IPE は、平成 26 年 (2014 年) 度に第一回、平成 27 年 (2015 年) 度に第 2 回、平成 28 年 (2016 年) 度に第 3 回を一泊二日で行った。医学、歯学、薬学、看護学の学生と教員が集まり、磐井病院の緩和医療で入院中の患者やスタッフとともに見て・聴いて・感じる体験学習で“新たな地域医療”を学ぶ。「職種を越える、地域を越える、自分を越える！」をキャッチコピーにプログラムの作成を行った。平成 29 年 (2017 年) 度以降は磐井病院が独立して実施する方針となった。

<在宅における IPE> (関連資料 10)

名古屋大学医学部地域枠 6 年生、看護学生、リハビリテーション療法学生を対象とした IPE。旧名古屋通信病院で実習中の当講座地域枠 6 年生と看護学生そしてリハビリテーション療法学生で在宅医療について多職種連携教育をおこなった。大幸砂田橋クリニックから患者宅へ訪問し、直接情報収集を行い、患者中心の在宅療養計画を作成した。実際の患者と接することで、緊張感も増した実習となった。

1) 論文

論文題名および著者名	発表雑誌	巻	頁	年
1. オンラインを用いた「糖尿病教室 IPE」でのファシリテーションの意義 末松三奈, 肥田武, 安友裕子, 半谷眞七子	医学教育	52(3)	280-282	2021
2. A novel online interprofessional education with standardised family members in the COVID-19 period Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Akira Yoshimi, Manako Hanya, Yukihiro Noda, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	International Journal of Medical Education	3(12)	36-37	2021
3. 多職種連携教育ゲーム (Interprofessional Education Game:iPEG) 日本語版の開発. 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 朴賢貞, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, Sundari Joseph, Lesley Diack	医学教育	50(2)	199-202	2019
4. A Scottish and Japanese experience of patient-centered diabetic care : descriptive study of interprofessional education on live webinar Suematsu M, Sundari Joseph, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Jenni Haxton, Morag McFadyen, Patrick Walker, Lesley Diack	Nagoya Journal of Medical Science	80(4)	465-473	2018
5. 糖尿病教育に対する患者及び家族のニーズ --学生による糖尿病教室を通して--	糖尿病医療学	第1巻	25-30	2018

平松成美, 末松三奈, 肥田武, 岡崎研太郎, 高橋徳幸, 阿部恵子, 瀧田英津子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 亀井浩行, 村松秀彦, 脇田久, 小森拓, 山内恵子, 植村和正, 葛谷雅文				
6. A大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因. 會田信子, 三好沙知, 河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 半谷眞七子, 阿部恵子, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正	医学教育	48	59-69	2017
7. 模擬患者参加型の多職種連携教育(つるまい・名城 IPE)の有用性 後藤綾, 半谷眞七子, 吉見陽, 内田美月, 竹内佐織, 會田信子, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 亀井浩行, 野田幸裕	薬学雑誌	137	733-744	2017
8. 医・薬・看護・栄養学生による糖尿病教室が学生のチーム医療に対する認識に及ぼす影響 The effects of interprofessional diabetes education program for medical, pharmacy, nursing and dietician students 山田未知, 末松三奈, 會田信子, 山内恵子, 阿部恵子, 安井浩樹, 野田幸裕, 亀井浩行, 半谷眞七子	保健医療福祉連携	9 (2)	2-12	2016
9. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育 安井浩樹	地域ケアリング	18(3)	56-57	2016
10. 在宅ケアにおける多職種連携教育 医学生と理学療法学大学院生の協働 阿部恵子, 安井浩樹, 内山靖, 末松三奈, 植村和正	医学教育学会誌	46 (6)	503-507	2015
11. 糖尿病教室 IPE(interprofessional education)～患者参加型 IPE の試み～ 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 會田信	医学教育学会誌	46	79-82	2015

子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 小森拓, 脇田久, 植村和正				
12. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育 阿部恵子, 安井浩樹, 青松棟吉	日本ヘルスコミュニケーション学会雑誌	5(1)	18-19	2015
13. A Scottish – Japanese collaboration, Joseph S, Abe K, Haxton J, Park HJ	CAIPE December e bulletin	25		2013
14. 多学部教員協働による医薬看護学生教育用シナリオ開発のこころみ 安井浩樹, 野呂瀬崇彦, 網岡克雄, 櫻井しのぶ, 青松棟吉, 阿部恵子	医学教育	44(4)	253-257	2013
15. 地域における多職種連携推進ワークショップ 安井浩樹, 網岡克雄, 青松棟吉, 阿部恵子, 平川仁尚, 倉田洋子, 野田雄二, 植村和正	医学教育	42(5)	289-293	2011

2) 国際学会発表

演題名	発表者	学会名	年 月 日
16. A successful, enjoyable interprofessional education program for first-year healthcare students	Ryota Asai, Mina Suematsu, Kentaro Okazaki, Noriyuki Takahashi, Masafumi Kuzuya, Wataru Ohashi	AMEE (Association for Medical Education) 2019	2019年8月 28日
17. A patient involvement programme toward interprofessional approach in fourth year medical students before clinical training	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	AMEE (Association for Medical Education) 2019	2019年8月 26日
18. A qualitative study of	Yui Wakabayashi,	48 th Annual	2019年7月

interprofessional collaborative practice in community-based dementia care in Scotland and Japan – the nurse perspective–	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Manako Hanya Keiko Abe, Masafumi Kuzuya, Morag McFadyen, Sundari Joseph, Lesley Diack	Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), Exeter, UK	3-5 日
19. Effectiveness of an “interprofessional diabetes education program” using a collaborative learning system in the Web campus on undergraduate healthcare professional students	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita, Kenichi Okumura, Manako Hanya, Keiko Yamauchi, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	48 th Annual Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), Exeter, UK	2019 年 7 月 3-5 日
20. Verifying the reliability and validity of the Japanese version of Interdisciplinary Education Perception Scale (IEPS)	Hyuga Suzuki, Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Masafumi Kuzuya, Kenta Murotani	AMEE (Association for Medical Education)	2018 年 8 月 27 日
21. What could students learn through a half-day interprofessional education programme using standardized patients for dementia care in clinical setting?	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita Manako Hanya, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	47 th Annual Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), London, UK	2018 年 7 月 11 日
22. Qualitative differences	Kota Ishida, Mina	47 th Annual	2018 年 7 月

between student-led and medical staff-led diabetes education programme: An exploratory research for ideal programme	Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro Okazaki, Etsuko Fuchita Manako Hanya, Keiko Abe, Keiko Yamauchi, Masafumi Kuzuya	Scientific Meeting of the SAPC (Society for Academic Primary Care), London, UK	11 日
23. Effective interprofessional education for teamwork and communication with medical, pharmacy, and nursing students	Shamoto T, Abe K, Suematsu M, Hanya M, Fuchita E	AMEE (An International Association for Medical Education) 2017	2017 年 8 月 26 日-31 日
24. 'The evaluation of teamwork skill and understanding each profession's perception through the new student-led interprofessional diabetes education programme'	Mina Suematsu, Keiko Abe, Manako Hanya, Etsuko Fuchita, Keiko Yamauchi, Hiroki Yasui	All Together Better Health VIII	2016 年 9 月 8 日
25. A Scottish and Japanese experience of patient centered interprofessional Diabetic care with a simulated patient	Mina Suematsu, Sundari Joseph, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Lesley Diack, Morag McFadyen, Patrick Walker, Jenni Haxton, Kazumasa Uemura	AOCO (the 8th Asia-Oceania Conference on Obesity) 2015	2015 年 10 月 3 日
26. Impact of student-led interprofessional diabetes education program on patients' motivation: A qualitative study	Makoto Ito, Mina Suematsu, Hiroki Yasui, Keiko Abe, Kazumasa Uemura	AMEE (An International Association for Medical Education) 2015	2015 年 9 月 7 日
27. Interprofessional Diabetic patient centred care and	Mina Suematsu, Keiko Abe, Hiroki Yasui,	2015 Wonca Asia Pacific Regional	2015 年 3 月 6 日

working	Kazumasa Uemura	Conference	
28. Interprofessional students' empathic talking can change behavior of patients and their families	Mai Kanda, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Mina Suematsu, Manako Hanya, Nobuko Aida, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
29. "Two or more", the impact of the number of professions in inter-professional education	Hiroki Yasui, Keiko Abe, Mina Suematsu, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
30. Interprofessional education in home-care improved interprofessional students' team communication competences	Keiko Abe, Hiroki Yasui, Mina Suematsu, Manako Hanya, Nobuko Aida, Muneyoshi Aomatsu, Kazumasa Uemura	12th International Conference on Communication in Healthcare in Amsterdam.	2014年9月29日-10月1日
31. Interprofessional education (IPE) program could be one of the most important strategies for global standards in medical education	Mina Suematsu, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Kazumasa Uemura	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2014	2014年9月1日
32. Pre-IPE" program in professional groups may relieve students' worries in IPE	INOUE S, ABE K, SUEMATSU M, AOMATSU M, YASUI H, UEMURA K	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2014	2014年8月30日-9月3日
33. Does "Interprofessional Education" In The Mono-Professional Setting Improve Students Understanding Of	Hiroki Yasui	11th Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC)	2014年1月15日-19日

Patient-Centred Care?			
34. What do medical and pharmacy students learn in Interprofessional education with a standardized patient?	Ryosuke Ichihara, Keiko Abe, Hiroki Yasui, et al.	11th Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC)	2014年1月15日-19日
35. An IPE certainly prepares students to become a collaborative practitioner: The evaluation of Interprofessional education in a Japanese medical school	Sho Inoue, Keiko Abe, Hiroki Yasui, Kazumasa Uemura, Yukihiro Noda, Manako Hanya, Nobuko Aida	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月25日-29日
36. Assessing the impact of the workshop for collaborative practice (CP) by analyzing participants' action plans	Hiroki Yasui, Katsuo Amioka, Takahiko Norose, Muneyoshi Aomatsu, Keiko Abe, Yoshihisa Hirakawa, Kazumasa Uemura	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月25日-29日
37. Comparison of teaching methods in undergraduate interprofessional education, between a standardized patient and a paper patient	Keiko Abe, Sho Inoue, Muneyoshi Aomatsu, Yasuhiro Noda, Manako Hanya, Nobuko Aida	Association for Medical Education in Europe (AMEE) 2012 (Lyon, France)	2012年8月25日-29日

3) 国内学会発表

演題名	発表者	学会名	年 月
38. 模擬患者参加型多職種連携教育の“これまで”と“これから”	湊田英津子, 岡崎研太郎, 末松三奈, 高橋徳幸, 野田幸裕, 吉見陽, 内山靖, 池松裕子, 玉腰浩司, 山口みほ, 阿部恵子	日本看護学教育学会 第31回 学術集会 (交流セッション)	2021年8月18日
39. Challenge of implementation of a	Mina Suematsu, Noriyuki Takahashi, Kentaro	第51回日本医学教育学会大会	2020年7月

patient involvement IPE programme in fourth year medical students, international session	Okazaki, Etsuko Fuchita, Wataru Ohashi, Keiko Abe, Masafumi Kuzuya	(紙上発表)	
40. 1年次における医・薬 合同多職種連携教育プ ログラムの効果	末松三奈, 浅井遼太, 半谷 眞七子, 湊田英津子, 高橋 徳幸, 岡崎研太郎, 大橋渉, 葛谷雅文	第 51 回日本医 学教育学会大会 (京都)	2019 年 7 月 26 日
41. 認知機能低下を伴う糖 尿病療養に対する模擬 患者(SP)参加型多職種 連携教育(IPE)	末松三奈, 高橋徳幸, 岡崎 研太郎, 吉見陽, 半谷眞七 子, 野田幸裕, 湊田英津子, 葛谷雅文	第 62 回日本糖 尿病学会年次学 術集会 (仙台)	2019 年 5 月 25 日
42. 日本とスコットランド の認知症ケアに対する 多職種連携の在り方-- 看護師の語りによる質 的分析--	若林唯, 末松三奈, 高橋徳 幸, 岡崎研太郎, 半谷眞七 子, 湊田英津子, 鈴木裕 介, 葛谷雅文	第 61 回日本老 年医学会学術集 会 (仙台)	2019 年 6 月 9 日
43. 多職種連携教育に対す る認識尺度 (IEPS) 日 本語版の信頼性と妥当 性の検証	鈴木日向, 末松三奈, 岡崎 研太郎, 高橋徳幸, 半谷眞 七子, 吉見陽, 野田幸裕, 湊田英津子, 室谷健太, 葛 谷雅文	第 50 回日本医 学教育学会大会 (東京)	2018 年 8 月 4 日
44. 糖尿病教室における多 職種協働の検討--「学 生による糖尿病教室」 を通して	末松三奈, 高橋徳幸, 岡崎 研太郎, 半谷眞七子, 亀井 浩行, 山内恵子, 肥田武, 湊田英津子, 村松秀彦, 脇 田久, 小森拓	第 61 回日本糖 尿病学会年次学 術集会 (東京)	2018 年 5 月 26 日
45. 多学部学生の協働によ る「糖尿病教室 IPE (多 職種連携教育)」が参加 者にもたらすもの	加藤真由子, 末松三奈, 半 谷眞七子, 高橋徳幸, 岡崎 研太郎, 阿部恵子, 湊田英 津子, 安井浩樹, 肥田武,	第 4 回日本糖尿 病医療学学会 (京都)	2017 年 10 月 7 日-8 日

	亀井浩行, 山内恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正, 葛谷雅文		
46. Web キャンパスを取り入れた糖尿病教室 IPE(多職種連携教育)が学生に及ぼす影響	奥村謙一, 末松三奈, 半谷眞七子, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 阿部恵子, 湊田英津子, 安井浩樹, 肥田武, 亀井浩行, 山内恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正, 葛谷雅文	第4回日本糖尿病医療学学会 (京都)	2017年10月7日-8日
47. 多学部学生の協働による患者教育プログラムを用いた多職種連携教育(IPE)の効果	加藤真由子, 末松三奈, 肥田武, 高橋徳幸, 岡崎研太郎, 阿部恵子, 湊田英津子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 脇田久, 小森拓, 植村和正	第49回日本医学教育学会大会 (札幌)	2017年18日-19日
48. 糖尿病 IPE(多職種連携教育)が学生のチームワーク能力および自他職種への理解に及ぼす影響	末松三奈, 肥田武, 安井浩樹, 阿部恵子, 湊田恵津子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 山内恵子, 村松秀彦, 脇田久, 小森拓, 植村和正	第60回日本糖尿病学会年次学術集会(名古屋)	2017年5月18日-20日
49. 糖尿病教育に対する患者及び家族のニーズ—学生による糖尿病教室を通して—	平松成美, 末松三奈, 肥田武, 阿部恵子, 湊田恵津子, 安井浩樹, 半谷眞七子, 村松秀彦, 亀井浩行, 小森拓, 山内恵子, 植村和正	第3回日本糖尿病医療学学会	2016年10月8日
50. チーム医療を支える多職種連携教育 (Interprofessional Education & Practice : IPEP) -医薬連携による模擬患者参加型 IPEP	吉見陽, 半谷眞七子, 後藤綾, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 亀井浩行, 野田幸裕	第1回日本薬学教育学会大会 (京都)	2016年8月28日

51. 「糖尿病教室 IPE (多職種連携教育)」が学生のチームワーク能力および自他職種への理解に及ぼす影響 ～2年間のまとめ～	末松三奈, 阿部恵子, 肥田武, 安井浩樹, 半谷眞七子, 亀井浩行, 會田信子, 植村和正	第 48 回日本医学教育学会大会	2016 年 7 月 30 日
52. 糖尿病教室 IPE プログラムが医療系学生に及ぼす影響	山田未知, 末松三奈, 會田信子, 山内恵子, 阿部恵子, 安井浩樹, 野田幸裕, 亀井浩行, 半谷眞七子	第 10 回日本フ ァーマシューテ ィカルコミュニ ケーション学会 大会 (名古屋)	2016 年 5 月 29 日
53. 医・薬・看護・栄養学生による糖尿病教室が学生の患者への関与およびチーム医療に対する認識に及ぼす影響	山田未知, 半谷眞七子, 末松三奈, 會田信子, 山内恵子, 阿部恵子, 安井浩樹, 野田幸裕, 亀井浩行	日本薬学会第 136 年会 (横浜)	2016 年 3 月 27 日
54. チーム医療の実践に向けた多職種連携教育 (Interprofessional Education : IPE) の有用性	後藤 綾, 半谷眞七子, 肥田裕丈, 長谷川章, 椿井朋, 毛利彰宏, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 亀井浩行, 野田幸裕	第 25 回日本医 療薬学会年会 (横浜)	2015 年 11 月 21 日
55. 在宅医療を考える模擬患者参加型多職種連携教育が 6 専門職種学生に及ぼす影響	阿部恵子, 寺田八重子, 三浦昌子, 安井浩樹, 野田幸裕, 毛利彰宏, 池松裕子, 會田信子, 植村和正	第 17 回日本看 護医療学会学術 集会	2015 年 10 月 10 日
56. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第 4 報) ソーシャルサポートとの関係	山崎古都, 三好沙知, 河地美紀, 山下麻衣, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第 7 回日本ヘル スコミュニケー ション学会学術 集会 (福岡)	2015 年 9 月 5 日
57. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影	山下麻衣, 山崎古都, 三好沙知, 河地美紀, 半谷眞七	第 7 回日本ヘル スコミュニケー	

響要因(第3報) 対人葛藤方略スタイルとの関係	子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	ション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
58. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第2報) 仮想的有能感との関係	河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 三好沙知, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第7回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
59. A 大学看護学生の協同学習に対する認識と影響要因(第1報) 個人特性との関係	三好沙知, 河地美紀, 山下麻衣, 山崎古都, 半谷眞七子, 阿部恵子, 毛利彰宏, 野田幸裕, 亀井浩行, 末松三奈, 安井浩樹, 植村和正, 會田信子	第7回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (福岡)	2015年9月5日
60. 医薬連携を活かした多職種の学生と共に学ぶチーム医療の実践: 多職種連携教育	野田幸裕, 半谷眞七子, 亀井浩行, 毛利彰宏, 末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹	27年度 ICT 利用による教育改善研究発表会 (東京)	2015年8月7日
61. 糖尿病教室 IPE (多職種連携教育) が学生のチームワーク能力および自他職種への理解に及ぼす影響	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第47回日本医学教育学会 (新潟)	2015年7月24日
62. 名古屋大学医学部における多職種連携教育と名古屋 IPE ネットワーク	安井浩樹, 阿部恵子, 末松三奈, 植村和正	第47回日本医学教育学会 (新潟)	2015年7月24日-25日
63. 一般病院で行った医療系学生のための多職種学生連携教育ワークシ	加藤博孝, 安井浩樹, 阿部恵子, 平野拓司, 横沢聡, 佐藤耕一郎	第47回日本医学教育学会 (新潟)	2015年7月24日-25日

ヨップ「いわい IPE」			
64. 卒前・卒後医学教育における多職種連携教育(IPE)の現状・問題と今後の課題 薬学教育における多職種連携教育の壁を乗り越える iPED の試み	野呂瀬崇彦, 日紫喜光良, 櫻井しのぶ, 安井浩樹	第 47 回日本医学教育学会 (新潟)	2015 年 7 月 24 日-25 日
65. 多職種連携教育に参加した医・薬・看護学生のチーム医療に対する認識の変化	小川英也, 稲垣雅志, 半谷眞七子, 阿部恵子, 安井浩樹, 末松三奈, 野田幸裕, 他	日本ファーマシユーティカルコミュニケーション学会第 9 回大会 (東京)	2015 年 5 月 24 日
66. Patient-Centered Approach をテーマにした多職種連携教育 (Interprofessional Education: IPE) の試み スコットランドとの協働	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会	2015 年 5 月 21 日
67. 地域における在宅患者・家族参加型他職種連携教育の取り組み	阿部恵子, 安井浩樹, 末松三奈, 野田幸裕, 半谷眞七子, 毛利彰宏, 會田信子	第 24 回日本歯薬学会年会	2014 年 9 月 27 日
68. 学部の特性に配慮した, 「多職種連携教育(IPE)のための模擬患者(SP)参加型シナリオの検討」	末松三奈, 青松棟吉, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 46 回日本医学教育学会	2014 年 7 月 19 日
69. Development of Nagoya Team Work Scale (NTwS) to measure teamwork competence of health care professionals	K Abe, T Tamakoshi, H Yasui, M Aomatsu, M Suematsu, K Uemura	第 46 回日本医学教育学会	2014 年 7 月 18 日-19 日

70. 「医学部における多職種連携教育(IPE)がチーム医療に及ぼす影響」	末松三奈, 阿部恵子, 安井浩樹, 植村和正	第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会	2014 年 6 月 6 日
71. チーム医療による実地体験型の糖尿病教室実施の試み	小森拓, 脇田久, 村松秀彦, 伊藤升美, 河瀬千里, 小椋真也, 長谷川功二, 中川裕子, 鈴木康之, 水谷早苗, 杉本直美, 馬場園愛, 鈴木安子, 堀田敦子, 西川正恵, 牧邨舞, 末松三奈	第 57 回日本糖尿病学会年次学術集会	2014 年 5 月 22 日-24 日
72. 多職種連携教育の学術的背景と成果について: 名古屋大学における取り組み	阿部恵子	第 4 回 THP(トータルヘルスプランナー)年次集会	2014 年 3 月
73. 地域における多職種連携の課題	安井浩樹	地域における多職種医療連携講演会	2014 年 2 月
74. 学校教育から生涯学習まで～シームレスな多職種連携教育の発展に向けて～	阿部恵子	多職種連携シンポジウム	2014 年 1 月
75. 多職種連携カンファレンス	安井浩樹, 阿部恵子	岩手県立病院医学会分科会	2013 年 12 月
76. A practice of smoking cessation assistance as a strategy of interprofessional education for collaborative practice	安井浩樹	第 8 回日本禁煙科学会学術総会	2013 年 11 月
77. 多職種連携教育で育てる新たな薬剤師像～超高齢社会を支える医療	安井浩樹	第 3 回薬学教育者のためのアドバンストワーク	2013 年 10 月

人をめざして～		ショップ	
78. 患者中心医療実現のための「家族アプローチ」という視点-多職種連携教育にみる医・薬と医・薬・看の違い-	阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 毛利彰宏, 會田信子, 植村和正	第15回日本看護医療学会学術集会	2013年9月
79. 多職種連携によるチームコミュニケーション教育	阿部恵子	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
80. 多職種連携教育に参加した看護学生のチーム医療に対する認識	濱田陽子, 半谷眞七子, 亀井浩行, 毛利彰宏, 野田幸裕, 阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
81. 薬学部における在宅医療シナリオを用いた“多職種連携教育”の試み～単一学部における効果と課題について～	安井浩樹, 阿部恵子, 青松棟吉, 網岡克雄, 石黒彩子, 平川仁尚, 植村和正	第5回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2013年8月
82. 多学部教員協働による医薬看護学生教育用のシナリオテキスト開発	安井浩樹	第45回日本医学教育学会	2013年7月26日-27日
83. How do student's perceptions of interprofessional collaboration change among medical, pharmacy, nursing, physical therapy and occupational therapy students by a pilot study	K Abe, M Hanya, Y Noda, K Tamakoshi, Y Uchiyama, Y Sawada, M Aomatsu, H Yasui, K Uemura	第45回日本医学教育学会	2013年7月26日-27日

in interprofessional education?			
84. 5 学科合同 IPE での適用経験	阿部恵子	医薬看クロスオーバー演習出版記念講演会	2013 年 5 月
85. 多職種連携教育に参加した薬剤師のコミュニケーション能力に関する検討：薬学生の抱く心理的障壁	阿部恵子, 井上祥, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 會田信子, 植村和正	第 31 回日本社会薬学会大会	2012 年 9 月 15 日-16 日
86. 効果的な IPE を可能にする教育戦略の考察：コミュニケーションの障壁の分析	井上祥, 阿部恵子, 青松棟吉, 安井浩樹, 野田幸裕, 半谷眞七子, 會田信子, 植村和正	第 4 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会	2012 年 9 月 7 日-8 日 (奨励賞受賞)
87. 多職種連携教育が医学生的情動能力に及ぼす影響 教育方略による検討	阿部恵子, 井上祥, 青松棟吉, 安井浩樹, 植村和正	第 44 回医学教育学会大会 (横浜)	2012 年 7 月 27 日-28 日
88. 地域における多職種連携推進ワークショップ開催の試み	安井浩樹, 青松棟吉, 阿部恵子, 植村和正	第 43 回医学教育学会大会 (広島)	2011 年 7 月 22 日-23 日

4) 書籍

89. 医学生のための無料情報誌「ドクターゼ」第 33 号 (発行：日本医師会, 編集：有限会社ノトコード) 授業探訪 医学部の授業を見てみよう (本誌 38~39 頁/全 44 頁中)
90. 医・薬・看クロスオーバー演習チーム医療の現状と問題点, そして未来・・・ 青松棟吉, 阿部恵子, 網岡克雄, 後藤克幸, 櫻井しのぶ, 野呂瀬崇彦, 安井浩樹著 京都広川書店 2013 年 3 月